

解答

(1) ⑧ looking (2) ⑤ underlie
(3) ③ fusion (4) ⑦ to (5) ①
reducing (6) ⑨ novel (7) ②
whether (8) ⑩ unless (9) ⑪
that (10) ⑭ presence (11) ⑬ is
(12) ⑫ for (13) ⑥ then (14) ④
concerned (15) ⑮ embracing

解答解説

(1) 正解 ⑧ looking

空所の前に前置詞 by があるため、動詞 look は動名詞 looking にする必要があります。by V-ing は「V することによって」という手段を表します。ここでは look at ～「～を見る」が基本となり、「前提を歴史的に検討することによって」となります。

(2) 正解 ⑤ underlie

空所は the presuppositions that () modern technology and science の関係詞節内の述語動詞です。that の先行詞 presuppositions が複数なので underlie が入ります。underlie A は「A の根底にある」という意味です。

(3) 正解 ③ fusion

空所は The quite sudden () of these two と、形容詞 sudden と前置詞 of の間にあるため名詞が必要です。fusion は「融合」で、the fusion of A and B は「A と B の融合」を表します。

(4) 正解 ⑦ to

be related to A は「A と関係がある」という重要表現です。is surely related to the ... democratic

revolutions で「民主革命と確かに関係している」となります。to は不定詞ではなく前置詞です。

(5) 正解 ① reducing

空所の前に前置詞 by があるので動名詞 reducing が入ります。by reducing social barriers は「社会的障壁を減らすことによって」。by V-ing が手段を表しています。

(6) 正解 ⑨ novel

空所は an emerging, entirely (), democratic culture と名詞 culture を修飾する位置なので、形容詞が必要です。novel はここでは「小説」ではなく形容詞で「新しい、斬新な」。entirely が novel を修飾しています。

(7) 正解 ② whether

The issue is whether S V は「問題は S が V するかどうかである」という構文です。whether 以下が be 動詞 is の補語となる名詞節です。whether a democratized world can survive ... で「民主化された世界が～を生き延びられるかどうか」となります。

(8) 正解 ⑩ unless

unless S V は「S が V しない限り」という条件を表す接続詞です。we cannot unless we rethink our axioms で「私たちが自らの基本原理を考え直さない限り、それは不可能である」となります。

(9) 正解 ⑪ that

think that S V の that で、後ろに完全な文 its origin was irritation が続いています。when 節は途中に挿入されているので、骨格は Did you

ever think that its origin was irritation? と考えると分かりやすくなります。

(10) 正解 ⑭ presence

空所は the irritating () of sand と、形容詞 irritating と前置詞 of の間にあるため名詞が必要です。the presence of A は「A の存在」という表現で、the irritating presence of sand は「刺激となる砂の存在」。その前の in response to ~ は「~に反応して」という重要表現です。

(11) 正解 ⑬ is

Not only が文頭に出たため、後ろで倒置が起っています。通常語順は the conflict is resolved ですが、Not only is the conflict resolved but value is created となります。「対立が解消されるだけでなく、価値も生み出される」の意味です。

(12) 正解 ⑫ for

the potential for A to V は「A が V する可能性・潜在力」という構文です。for us が to create の意味上の主語となり、the potential for us to create ... で「私たちが~を生み出す可能性」となります。

(13) 正解 ⑥ then

前半に When we understand that ... があり、それを受けて then we begin ... と続いています。when ..., then ... で「~すると、そのとき...する」という対応関係を明確にしています。

(14) 正解 ④ concerned

less concerned about ~ は「~についてそれほど心配せずに」という表現です。concerned は形容詞で、be concerned about A「Aを心配する」が基本です。ここでは letting life in が about の目的語です。

(15) 正解 ⑮ embracing

空所の後ろに目的語 conflict があり、さらに can become が文全体の述語になっています。したがって Embracing conflict 全体が主語となる動名詞句です。「対立を受け入れることは喜びとなり得る」という意味になります。

全訳

(A)

まず手始めとして、現代の技術と科学の根底にある前提を、ある程度歴史をさかのぼって検討することによって、私たち自身の考えを明確にするよう努めるべきです。科学は伝統的に貴族的で、思索的であり、その目的において知的なものでした。一方、技術は下層階級に属するもので、経験的で、行動を重視するものでした。この二つが 19 世紀半ばごろにかなり突然融合したことは、それよりわずかに先立つ、また同時代の民主革命と確かに関係しています。そうした革命は、社会的な障壁を減らすことによって、頭脳と手、すなわち知的活動と実際の活動が機能的に一体であることを主張する傾向がありました。私たちの生態学的危機は、出現しつつある、まったく新しい民主的文化の産物です。問題は、民主化された世界が、自らがもたらす結果に耐えて存続できるかどうかで

す。おそらく、自分たちの基本原理を考え直さない限り、それはできないでしょう。(B)

美しい真珠を手にしたたり眺めたりしたとき、その起源が刺激にあると考えたことがあるでしょうか。カキは、殻の内部にある砂の刺激に反応して、美しいものを作り出します。対立が解消されるだけでなく、価値までもが生み出されるのです。対立には、私たちが美しい真珠を生み出し、世界や自分自身に貢献する可能性が含まれているのだと理解すると、私たちは自分の殻を開き始め、人生を内側に受け入れることをそれほど心配しなくなります。刺激や欲求不満が成長や新たな魅力につながり得ると分かれば、対立を受け入れることは喜びにもなり得るのです。

構文解説

(A)

① we should try to clarify our thinking by looking ... at the presuppositions that underlie modern technology and science we / should try / to clarify our thinking / by looking at the presuppositions [that underlie ~]. try to V「Vしようとする」、by V-ing「Vすることによって」が骨格。that は presuppositions を先行詞とする主格の関係代名詞で、underlie A は「Aの根底にある」。

② Science was traditionally aristocratic, speculative, intellectual in intent; technology was lower-class,

empirical, action-oriented.

Science / was / A, B, C ; technology / was / D, E, F. セミコロンを挟んで science と technology が対照されている。前者は「貴族的・思索的・知的」、後者は「下層階級的・経験的・行動志向」と対比される。

③ The quite sudden fusion of these two ... is surely related to the ... democratic revolutions which ...

The fusion [of these two] / is related to / the democratic revolutions [which ~]. 長い文だが中心骨格は The fusion / is related to / the revolutions. which 以下は democratic revolutions を説明する関係詞節。

④ which, by reducing social barriers, tended to assert a functional unity of brain and hand

which / tended to assert / a functional unity ~ . by reducing social barriers は手段を表す挿入句。tend to V「Vする傾向がある」、a unity of A and B「AとBの一体性」。

⑤ The issue is whether a democratized world can survive its own implications.

The issue / is / whether a democratized world can survive ~. SVC の文で、whether 節全体が補語。whether S V は「SがVするかどうか」。survive はここでは他動詞で

survive its own implications となっている。

⑥ Presumably we cannot unless we rethink our axioms.

Presumably / we cannot / unless we rethink our axioms. cannot の後ろには前文の survive its own implications が省略されている。unless S V は「SがVしない限り」で、条件を表す。

(B)

① Did you ever think, when you held or looked at a beautiful pearl, that its origin was irritation?

Did you ever think / (when S V) / that its origin was irritation? 中心骨格は Did you ever think that S V?。when 節が途中に挿入されているので、まず外して読む。that 節が think の目的語。

② An oyster, in response to the irritating presence of sand within its shell, creates a thing of beauty.

An oyster / (in response to the irritating presence of sand within its shell) / creates / a thing of beauty. 骨格は An oyster / creates / a thing of beauty. in response to A「Aに反応して」が挿入されている。さらに the irritating presence of sand は「刺激となる砂の存在」、within its shell は sand の位置を示している。

③ Not only is the conflict resolved but value is created.

通常語順は The conflict is not only resolved, but value is also created. に近い。Not only が文頭に置かれたため is the conflict resolved と倒置が起こっている。not only A but (also) B「AだけでなくBも」。

④ When we understand that conflict includes the potential for us to create beautiful pearls ..., then we begin to open up our shells

When we understand [that S V], / then we begin / to open up our shells. When 節が条件・時を示し、then 以下が主節。the potential for A to V は「AがVする可能性」で、for us が to create / contribute の意味上の主語。

⑤ less concerned about letting life in

less concerned / about letting life in 主節の we の状態を補足する表現。be concerned about V-ing 「Vすることを心配する」で、less によって「それほど心配せずに」となる。

⑥ Embracing conflict can become a joy when we know that irritation and frustration can lead to growth and fascination.

Embracing conflict / can become / a joy / when S V. Embracing conflict は動名詞句で文の主語。when 節内は know that S V、さらにその that 節内で lead to A「Aにつながる」が使われている。